

# たんぽぽ



No. 181 2022年(令和4年)5月

発行 北部地域振興課

住所 〒720-1132

福山市駅家町倉光37-1

電話 (084) 976-9460

E-mail : hokubu-chiikishinkou@city.fukuyama.hiroshima.jp

## 北部市民フェスティバル2021～ひとの輝き 織りなす未来(あした)～

市民・行政と協働で「市民主体の生涯学習活動の促進」と「協働のまちづくりの推進」を図り、北部地域の活性化をめざすことを目的に実施してきた「北部市民フェスティバル」は、2021年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止としました。

北部市民フェスティバル実行委員会

北部市民フェスティバルは、2003年度から始まりました。

子どもの体験活動を中心に行っていた「わくわくドキドキこどもひろば」から、対象をおとなにまで広げた「北部生涯学習フェスティバル」を経て、2008年度からはさらに内容を充実させ「北部市民フェスティバル」として行ってきました。

そして、2015年度福山市市政施行100周年には自治会連合会とイベント部会に取り組んだ経過で、実行委員会を組織して取り組みました。その後、まちづくり推進委員会と実行委員会を組織し、様々な方の支えの中で続けられてきたイベントです。

### =これまでのポスター紹介=



2003年度



2006年度



2007年度



2008年度



2009年度



2010年度



2011年度



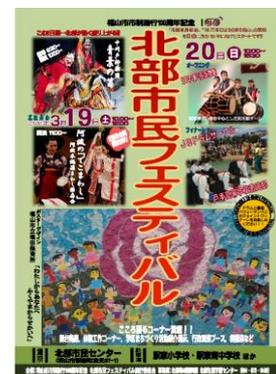
2012年度



2013年度



2014年度



2015年度  
福山市市制施行100周年記念



2016年度



2017年度



2018年度



2019年度

# 北部市民フェスティバルの 歴史

人と人がつながり北部の地域力を高めるために、私たちは「つながりの種」をまき水をまき続けてきました。そして今、その種はしっかりと大地に根を張り、芽吹き、ふたばをつけすくすくと育っています。

いつかきっと、つながりの大輪の花が  
ここ北部の地域に咲くことを願って・・・。



## 2003年度

工作・調理体験や観劇などを中心とした、子どもが「わくわくドキドキ」するような内容で「子どもひろば」を開催。  
これが後の北部市民フェスティバルとなる。

## 2008年度

名称を「北部市民フェスティバル」へ変更。

## 2011年度

2011年度

2011年3月11日に発生した東日本大震災。遠く離れた福山の地から被災地へ復興を願うエールを送るため、たくさんのフェスティバル参加者によって人文字「未来」を作成。

後日、エールの寄せ書きにプリントアウトし、被災地へ届ける。



## 2006年度

北部市民センターの開設10周年記念と合わせて開催。この年より「北部生涯学習フェスティバル」と名称を変更。これまでの子ども中心のイベントから、地域を巻き込んだ協働のまちづくりの考えを盛り込んだイベント内容に変化をとげる。  
また、この年よりステージイベント「芸能百選廻り舞台」がスタートする。

芸能百選廻り舞台

## 2015年度

福山市市政施行100周年記念行事として開催。「市民全員参加」「100万本のばらのまち福山」の実現を目標に、次の100年に向けたスタートをきる。はしご車からお祝いの懸垂幕を垂らし、大いに盛りあがる。  
翌16年度より実行委員会形式での開催とする。

おめでとう  
100歳



あした

ひとの輝き 織りなす未来

# 北部市民フェスティバルのこれまで

北部市民フェスティバルは、生涯学習と協働のまちづくりの推進とともに、北部地域の活性化をめざすことを目的にこれまで開催してきました。

市民・団体・行政の協働により、それぞれの特長や個性を活かした市民主体の生涯学習活動の推進や人権学習、協働のまちづくりなどの啓発の場、さらには学区・世代・団体を超えた交流の場となってきました。



ベトナムの文化にふれる



地域の団体や多文化な模擬店

## たくさんの地域からの団体さんと作りあげてきた

出演する喜びを体感するとともに、参加者・ボランティア・行政が協働でステージを作りあげていくことを通して、市民相互の連携と交流を深めながら企画運営する喜びを体験。また、見る人の感動や興味を引き出し生涯学習の輪の広がりへとつなげてきました。

毎年、ステージのテーマを設定し、テーマに沿った運営をしてきました。複数の団体のコラボレーションもあり、ステージを盛りあげてくれました。



福山平成大学の学生ボランティアが司会をしてくれました

たくさんの出演者、団体、ボランティアのみなさま大集合でステージを盛りあげました

## 子どもの「しりたい」「やってみたい」を応援

みんなと楽しみながら、時には協力をしながら自分なりの満足と達成感を味わってもらえるような体験コーナー。

自分でじっくり時間をかけて作って遊ぶという体験から、ものづくりの楽しさを知り、うまくできなかったときもあきらめなくて、なぜうまくいかないのかを考え、工夫次第で遊べることを体験。



木の実の工作

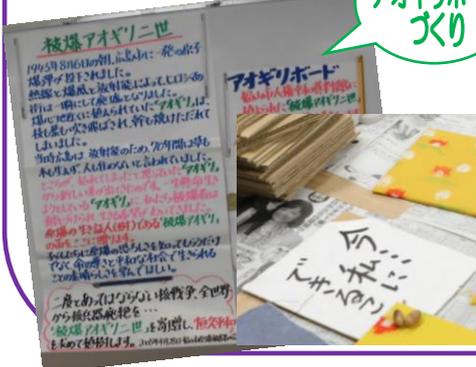
木の実や木っ端を使って自由な発想で作品をつくり自然と環境について考えたよ

アオギリボードづくり

「被爆アオギリ2世」の剪定された枝や葉っぱを使ったボードづくりで命の大切さと平和を考えたとよ

手で触って読む文字である「点字」を使った名刺づくりで障がい者への理解を深めたよ

点字名刺づくり



# やっぱりつながるエイね



北部地域には、外国にルーツをもつたくさんの外国人が暮らしています。その人たちと直接触れ合ったり会話することで知り合うことができ、大きなつながりがうまれました。

## ご近所留学

多文化共生の花を咲かせる大切なコーナーとして、北部市民フェスティバルに位置づいてきました。

【パスポートより・・・】

わたしのだいすきな子どもたちよ、ようこそ、ほくぶしみんフェスティバルへ。

さあ、このパスポートをもって、ごきんじょりゅうがく&スタンプラリーにしゅっぱつじゃ。

わしのすばらしいヒントをもとに7このスタンプをあつめてくれ。

たくさんの人とあって、おはなしをすることをいのっておるぞ。



ケニアの人と握手をしたよ！

最初はちょっとこわいな~と思ったけど、話をしたらとっても優しくかったよ！

中国やベトナムのあいさつを覚えたよ！

こんな子どもたちの頼もしい声に、背中をポンッと押されるおともたくさんいました！

## たくさんの若い力が発揮できたよ！！

公民館・コミュニティセンター・交流館で活動するサークルや市民の方々、近隣の学校にもボランティアとして参加していただき、若さいっぱいで取り組む姿はすばらしかったと参加者からも感想をいただいています。



わたがしやポップコーン作り、着ぐるみを着て練り歩き、クッキングや工作の指導、ゴミステーションの仕分け作業など



みんなと楽しみ、時には協力をしながら自分なりの満足と達成感を味わってもらえるような運営をしました。

## 北部の地域力を高める各団体のつながり

北部地域で活躍されている団体がそれぞれの思いやノウハウを出し合い、交流しお互いを知ることで、つながりが深まりました。

多世代・多文化の理解と関心が深まり、認め合うことで大きな力となっています。



2011年度、東日本大震災の被災者を応援しようと、メッセージの寄せ書きをし、フィナーレで「未来」の人文字をつくり、寄せ書きの中央にプリントし、東北へ送りました。

今後も状況に合わせて実施形態を工夫しながら、地域の活性化、出会い、つながりのきっかけとなるよう企画をしていきます。